

# カリキュラムの特色

## カリキュラムの特色

本学のカリキュラムは、広く教養を身につけるとともに、高度な専門的知識・技術を修得するために作られています。その具体的実践はあくまで学生の主体的選択にゆだねられています。また、建学の精神に基づき、仏教精神、特に禪の教養を基本とする“行学一体”の理念に立って人格を陶冶し、人間関係の尊重に由来する“報恩感謝”を実践できる社会人を養成し、地域社会においても、国際社会においても、その社会的責務を十全に果たしうる人材の養成を目的としています。

# 総合政策学部の特徴

## 目標

21世紀は激変の時代です。高度情報化をはじめ、科学技術の革新、生命の尊厳、少子高齢化、ジェンダー・フリー、地球環境の保全、家庭・地域の再生、グローバル化など、持続可能な共生のし方や社会システム再構築のし方において数多くの課題に直面しています。これらの課題を着実に解決するためには、私たちの生活や社会の中に問題を発見し、問題の要因・背景を探求し、その解決策を提示することが必要です。このような問題解決に果敢に取り組み、実社会に貢献できる有用な人材の育成こそが本学部の基本的な教育目標です。そのために本学部では、広く世界・日本・地域の動きを視野に入れ、人々の生き方や社会のありように関心を寄せ、これからのあり方を考えるために必要な基礎的なリテラシー（日本語、英語、情報、統計、プランニングなど）を土台に、主体的な問題意識と能動的な学びのスキルを身につけ、人間と社会にかかわる諸科学を総合的・学際的に学ぶことができるように教育課程が編成されています。こうした教育課程を学修することによって、幅広い人間的教養と実践的な問題発見・解決能力を存分に発揮できる即戦力の社会人となることが期待されます。

## カリキュラム

### 1)教育方針

本学は仏教精神にもとづく「行学一体」と「報恩感謝」を教育の基本理念としています。前者は、人として「生きる」ために必要な「知識」が、そのまま実践に移すことのできるような「知恵」の修得であり、後者は、すべてのいのちあるものが共生する未来社会にとって不可欠の「思いやりのこころ」や、「世間への恩返し」に代表されるような感謝の気持ちとしかえることができます。

総合政策学部では、これらの基本理念を4年一貫の人間教育の基盤にすえ、一定の専門的学修を課したうえで、総合的な見地から学生の個性と能力を引き出します。そして人間の成長や自己実現を可能にする社会的な環境づくりを目標に、その道しるべとなる政策・企画づくりのできる人材を育成します。

具体的には、リテラシー科目、基盤科目を学ぶことによって政策・企画を立案・提言するために必要な基礎的な知識を体系的に修得し、これを土台に展開科目を通じて、総合的な視野をいっそう広げるとともに、各専攻分野に立脚した一定の専門的視点から政策・企画の立案・提言に必要な学理を系統的に、また問題解決学習の手法をとり入れつつ、修得できるように指導します。

# 総合政策学部の特徴

## 本学部の教育課程を構成する授業科目群

### 1) 教養教育科目

本学部では、現代社会に生きる人間にとって必要な教養を、人間に関する分野、社会に関する分野、自然に関する分野の3分野から身につけさせようと考えています。本学の特徴たる「宗教学Ⅰ」、「宗教学Ⅱ」(いずれも必修)をはじめとして、「心理学」、「法学」、「社会学」、「教育学」、「物理学」、「化学」、「生物学」など幅広く開講します。また、2年次からは学際的で広い領域の中からテーマを設定して理解を深める主題系科目を開講します。

### 2) 専門教育科目

#### (a) リテラシー科目

政策・企画の立案・提言をする基礎として必要なリテラシーを修得するために、言語リテラシー、情報リテラシー、リサーチリテラシー、プランニングリテラシー、の4種類を設けています。言語リテラシー科目は、コミュニケーション英語ほか英語に関するものと、日本語に関するものからなり、いずれも21世紀に必要な言語コミュニケーション能力の養成を図ります。また、情報リテラシー科目によってコンピューターを道具として自在に活用できる能力を身につけ、リサーチリテラシー科目を通して、リサーチを行いその結果を分析するのに必要な知識・技術を修得し、さらに、プランニングリテラシー科目では論理的な思考法や企画立案能力を養成します。

#### (b) 基盤科目

政策・企画の立案・提言をするために必要な専門的知識のうち、共通した基盤となるものを修得します。「総合政策概論」を始め、18科目が開講されます。

#### (c) 展開科目

教養教育科目、リテラシー科目、基盤科目を土台に、学生がそれぞれ、より良い社会を築くため、人間生活をより充実したものにするために、具体的な政策・企画の立案・提言をするうえで必要な専門的知識体系を修得します。専門領域として、「政治・行政クラスター」、「経済・環境クラスター」、「国際クラスター」、「社会・文化クラスター」、「情報・メディアクラスター」、「人間科学クラスター」の6つのクラスターと総合的に学ぶことができる総合領域を用意しています。すべての科目が選択科目です。

#### (d) リサーチ・プロジェクト

教員と学生が一体となって行う授業。1年次から4年次まで、リサーチに必要な基礎知識修得から始まり、問題の発見・分析を経て、4年次には独創性を備えた政策の立案・提言ができる力を養います。

#### (e) キャリア・デザイン

インターンシップ、資格の取得など就職時および就職後にも役立つ科目群です。

# 進級・卒業

## 進級

### (1)進級要件

「第3年次への進級に関する内規」(P.88参照)に基づき、2年次から3年次への進級に必要な単位数は48単位です。

2年次修了時点で卒業要件科目の内48単位以上修得した者は、修得科目に関わらず3年次へ進級できます。

1年次から2年次へ、3年次から4年次への進級要件はありませんので、自動的に進級します。

なお、1セメスター休学した場合でも次の学年に進級します。ただし、2セメスター連続して休学した場合は、原級にとどまります。

### (2)進級時期

進級時期は、3月(2年次秋学期)のみです。2年次春学期修了時点で進級要件を充足しても年度途中で3年次へ進級することはできません。

進級可能者は3月中旬にお知らせします。

### (3)進級不可(留年)について

進級不可(留年)となった学生については、3月中旬に保証人宛に通知します。

## 卒業

### (1)卒業要件

大学を卒業するためには、以下の2点を満たさなければなりません。

①通算して4年(8セメスター)以上在学した者(休学期間は除く)。

②学則第8条に定められている所定の128単位(卒業に必要な単位数)を修得した者(詳細はP.31～33参照)。

注) 4年次修了時点で上記の条件を満たしていなければ、128単位以上修得していても卒業することはできません。

### (2)学位の授与

卒業要件を充足した者は、学則第37条により学士(総合政策学)の学位が授与されます。

### (3)卒業時期

卒業時期は、3月または9月のいずれかです。

いずれの場合も要件を充足した場合は卒業となります。

#### ①3月卒業

4年次秋学期修了時点で卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、3月上旬に保証人宛に通知します。

#### ②9月卒業

4年次春学期時点で、4年(8セメスター)以上在学し、卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、9月中旬に保証人宛に通知します。

### (4)卒業不可(留年)について

卒業不可(留年)となった学生については、3月上旬に保証人宛に通知します。

次年度以降の卒業に関する調査を行います。所定の用紙を履修登録期間までに教務課へ提出してください。

# カリキュラム概要

## 卒業要件概略表

科目区分	科目・単位数				合計単位数			
教養教育科目	宗教学Ⅰ・Ⅱ 4単位 (1年次必修)	その他の教養教育科目 16単位選択			20			
グレイゾーン	教養教育科目・専門教育科目・他学部他学科科目・他大学履修科目(単位互換履修)の内から 12単位選択				12			
専門教育科目	リテラシー科目	コミュニケーション 英語Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb・ Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb 8単位(1年次必修) 日本語表現法Ⅰ 2単位(1年次必修) プラクティカル英語 Ⅰ・Ⅱ 4単位(2年次必修)	情報リテラシーⅠ・Ⅱ 4単位(1年次必修)	社会調査論Ⅰ 2単位(1年次必修) 社会統計学Ⅰ 2単位(2年次必修) データ分析Ⅰ 2単位(2年次必修)	ロジカル・ シンキングⅠ 2単位 (2年次必修)	8 単位 選 択	34	96
	基盤科目	総合政策概論 2単位(1年次必修)	政策規範論 2単位(2年次必修) 政策過程論 2単位(2年次必修) 政策評価論 2単位(2年次必修)	14単位選択 *注1			22	
	科目展開	24単位選択					24	
	リサーチ・プロジェクト	リサーチ・プロジェクト Ⅰa・Ⅰb 4単位(1年次必修)	リサーチ・プロジェクト Ⅱa・Ⅱb 4単位(2年次必修)	リサーチ・プロジェクト Ⅲa・Ⅲb 4単位(3年次必修)	リサーチ・プロジェクト Ⅳa・Ⅳb 4単位(4年次必修)		16	
合 計						128		

\*注1 基盤科目の政治学基礎、経済学基礎、国際関係学基礎、社会学基礎、情報科学基礎、人間科学基礎のうちから3科目6単位以上修得しなければなりません。

以上の128単位の修得要件を満たしていないと卒業することができません。(網掛け部分は必修科目です)

# カリキュラム概要(13G ~)

## (2013年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
 □ = 必修科目

分野	卒業要件	1年次	2年次	3年次	4年次
宗教学	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②			
教養基幹科目	16単位	人文系:心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、 社会系:経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学A-Ⅰ②・A-Ⅱ②・B-Ⅰ②・B-Ⅱ②、 自然系:地理学Ⅰ②・Ⅱ②、数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、 生物学Ⅰ②・Ⅱ②			
		教養セミナーⅢ①・Ⅳ① 主題系:仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、 生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、 人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、 アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、 英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、 情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、 ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目	20単位	ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
		ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、 ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
		中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
		中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、 中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
		フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
		フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、 フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
韓国語	20単位	韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
		韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、 韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
日本語 (注1)	20単位	日本語Ⅰa①・Ⅱa①・Ⅰb①・Ⅱb①・Ⅰc①・Ⅱc①			
		日本語Ⅰd①・Ⅱd①・Ⅰe①・Ⅱe①			
健康総合科学科目	20単位	スポーツ科学Ⅰ①・Ⅱ①			
		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①			
海外事情科目	20単位	海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			

(注1) 外国人留学生のみ履修可能

自由選択科目	卒業要件単位数に算入されない	キャリア・デザイン②		
		※ サービスラーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学A・B・C・D 各②		
		※ 長期インターンシップ④		

※2015年度以降入学生のみ履修可能  
 (詳細についてはP.76・77を参照)

### 2 グレーゾーン

必要単位数 A 12 単位	a. 「教養教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 「専門教育科目」の「リテラシー科目」、「基盤科目」、「展開科目」で必要最低単位数を超えた単位 c. 「専門教育科目」の「キャリア・デザイン科目」の単位 d. 他学部・他学科科目 e. 単位互換科目(単位互換A～Z)
------------------	--

# カリキュラム概要

## 3 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野		卒業要件		1年次	2年次	3年次	4年次
リテラシー科目	情報リテラシー	4単位	34単位	情報リテラシーⅠ②・情報リテラシーⅡ②			
	言語リテラシー	14単位		プログラミングⅠ②・プログラミングⅡ②、データベース②			
				コミュニケーション英語Ⅰa①・Ⅰb①・Ⅱa①・Ⅱb①・Ⅲa①・Ⅲb①・Ⅳa①・Ⅳb①、日本語表現Ⅰ②			
	リサーチリテラシー	6単位		ブラクティカル英語Ⅰ②・Ⅱ②			
				日本語表現Ⅱ②			
プランニングリテラシー	2単位	社会調査論Ⅰ②					
基盤科目	8単位	22単位	社会統計学Ⅰ②、データ分析Ⅰ②				
	6単位		社会調査論Ⅱ②、社会統計学Ⅱ②、データ分析Ⅱ②				
	ロジカルシンキングⅠ②						
展開科目	24単位	96単位	ロジカルシンキングⅡ②、問題解決技法②、プランニング論②、ファシリテーション②、空間デザイン②				
			総合政策概論②				
			政策規範論②、政策過程論②、政策評価論②				
			政治学基礎②、経済学基礎②、国際関係学基礎②、社会学基礎②、情報科学基礎②、人間科学基礎②				
			法学入門②、環境学入門②、グローバルイノベーション論②、生命論②				
			日本現代史②、世界現代史②、組織意思決定②、数理意思決定②				
			政治理論②、政治過程論②、日本政治論②、比較政治論②、現代行政論②、日本行政論②、地方自治論②、地域政策②、合意形成論②、NPO・NGO論②				
政治・行政クラスター	24単位	96単位	経済政策②、財政学Ⅰ②、財政学Ⅱ②、金融論Ⅰ②、金融論Ⅱ②、環境政策②、環境評価論②、環境マネジメント論②、環境共生論②、国際環境論②				
経済・環境クラスター			国際関係史②、国際関係論②、国際安全保障論②、外交政策②、国際機構論②、人間の安全保障論②、国際開発論②、国際協力論②、国際政治経済論②、国際社会論②				
国際クラスター			表象文化論②、多文化共生社会論②、コミュニティ論②、社会政策②、機会均等論②、格差社会論②、男女共生社会論②、生涯学習社会論②、現代教育論②、教育政策②				
社会・文化クラスター			情報法②、情報倫理②、情報社会論②、マスメディア論②、コミュニケーション論②、情報システム論②、情報ネットワーク論②、情報インターフェース論②、マルチメディア論②、情報産業論②				
情報・メディアクラスター			生涯発達心理学②、青年心理学②、人格心理学②、メンタルヘルス論②、社会心理学②、対人認知論②、心理診断法②、行動科学②、生命健康科学②、生態学②				
人間科学クラスター			総合政策a②・b②・c②・d②・e②・f②				
総合領域			16単位	96単位	リサーチ・プロジェクトⅠa②・Ⅰb②		
リサーチ・プロジェクト	リサーチ・プロジェクトⅡa②・Ⅱb②						
	リサーチ・プロジェクトⅢa②・Ⅲb②						
	リサーチ・プロジェクトⅣa②・Ⅳb②						
キャリア・デザイン科目	12単位まで卒業要件に算入可能	96単位	キャリア・デザインⅠ②、キャリア対策Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②				
キャリア・デザインⅡ②、インターンシップ②、社会と倫理②							
心理学実験Ⅰ①・Ⅱ①							

**卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位**

履修関連事項

カリキュラム

その他

諸規則

# 授業科目の概要

## 教養教育科目

### 教養教育科目の理念と目標

教養教育では、「学生一人ひとりの人間性を尊重しつつ、豊かな教養と高い品位を兼ね備えた人間の育成を目指す」という理念のもとに、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な価値観と深い洞察力を育成する「リベラル・アーツの修得」を柱として、多彩な科目を開講しています。学生の皆さんが将来豊かな教養を兼ね備えた人材として社会に貢献できることを目指します。

### 宗教学

「建学の精神」に基づいて、宗教、特に禅・仏教を学びます。そこには「人間の弱さや愚かさ、強さや素晴らしさ」についての豊かな洞察が含まれています。

授業は、共通のテキストを用いた講義が中心ですが、各担当教員は視聴覚教材を活用するなど、独自の工夫を凝らしています。また、年1、2回「坐禅の体験実習」も行います。

この科目を通して「生きること」「信じること」の意味について考えてみましょう。

○宗教学Ⅰ・Ⅱは必修科目ですので4単位を修得する必要があります。

### 教養基幹科目

教養基幹科目は人文系・社会系・自然系・主題系の各科目からなっています。人文系・社会系・自然系科目では、専門教育に不可欠な広い視野と学問領域にとらわれない広範な教養、そして豊かな人間性の育成を目標としています。総合大学としてのメリットを最大限に生かし、幅広い学問領域をカバーする多彩な科目でカリキュラムを構成しています。主題系科目においては、学際的で広い領域の中からテーマを設定し、それぞれの主題について総合的な理解を深めるために複数の教員が担当する授業や、特定のテーマについてより深く掘り下げて学ぶ授業が行われます。

### 外国語科目

国際人として活躍するにふさわしい外国語能力の教育について、本学部ではリテラシー科目としてコミュニケーション英語、プラクティカル英語を開講する他に、教養教育科目の外国語科目として、1年次からドイツ語・フランス語・中国語・韓国語の4ヶ国語を外国語科目として受講可能とし、広く国際人として活躍できるよう外国語修得への道を準備しています。

ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語の能力を更に伸ばしたい諸君は、2年次以上で、ドイツ語Ⅲ・Ⅳ(読解)、Ⅲ・Ⅳ(表現)、Ⅲ・Ⅳ(総合)、ドイツ語会話Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅲ・Ⅳ(読解)、Ⅲ・Ⅳ(表現)、Ⅲ・Ⅳ(総合)、中国語会話Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅲ・Ⅳ(読解)、Ⅲ・Ⅳ(表現)、Ⅲ・Ⅳ(総合)、フランス語会話Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅲ・Ⅳ(読解)、Ⅲ・Ⅳ(表現)、Ⅲ・Ⅳ(総合)、韓国語会話Ⅰ・Ⅱを履修するとよいでしょう。

外国人留学生は、日本語を履修することが望まれます(他学部他学科科目として卒業要件単位に算入できます)。日本語科目には、Ⅰa・Ⅱa～Ⅰe・Ⅱeがありますが、科目のアルファベットは以下の内容を表します。

a-読解・語彙 b-会話・聴解 c-文章表現 d-総合Ⅰ e-総合Ⅱ

# 授業科目の概要

## 教養教育科目

### 健康総合科学科目

健康総合科学では各種スポーツの「実践」と「理論」により、健康の価値と運動の楽しさを体験的に認識することによって健康の自己管理能力を養い、それぞれ各人の能力にあった運動を生涯スポーツとして確立し、広く社会に貢献しうる人材の育成を目的としています。スポーツ科学では「実践」により皆さんができるだけスポーツに親しむことを望んでおり、健康総合論では「理論」によって健康に関する諸問題を医学面、あるいは運動面から総合的にアプローチしていきます。

○第1週目は授業内容などのガイダンスを行いますので、所定の教室に集合してください。

既往症、現在症などで運動制限をしなければいけない場合	第1週目の授業時に担当教員に必ず申し出る
見学を余儀なくされた場合	担当教員に申し出る (長期に渡る場合は、診断書を提出)
試合などで休む場合	前もって担当教員に申し出る
天候不順の場合	授業変更は体育館事務室前に掲示

○更衣は体育館更衣室で行い、衣服などの荷物を各競技場に持っていき、各自で管理してください。そのため、貴重品はできるだけ持ってこないようにしてください。

### 海外事情科目

海外の国に実際に足を踏み入れ、今まで学習してきた外国語を実際に使ってみることによって、新たな経験を積み、視野を広げることになります。

海外事情科目は、本学が行う「海外語学研修」をその内容としています(詳細については、P.24参照)。

# 授業科目の概要

## 2013 年度以降入学生

### 専門教育科目

#### (1)リテラシー科目

政策・企画提言をするのに必要な基礎的リテラシーとして、言語リテラシー、情報リテラシー、リサーチリテラシー、プランニングリテラシーの4種類を設けています。

情報リテラシー		
情報リテラシーⅠ・Ⅱ	4単位必修	} 必修 26 単位
言語リテラシー		
コミュニケーション英語Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb	8単位必修	
プラクティカル英語Ⅰ・Ⅱ	4単位必修	
日本語表現法Ⅰ	2単位必修	
リサーチリテラシー		
社会調査論	2単位必修	
社会統計学	2単位必修	
データ分析Ⅰ	2単位必修	
プランニングリテラシー		
ロジカルシンキングⅠ	2単位必修	
選択科目から	8単位	
	計	34単位

#### (2)基盤科目

政策・企画提言をするために必要な問題の所在の解明と分析、その解決のための政策および企画に関する基礎的知識体系の修得を目的とする科目です。

総合政策概論	2単位必修	} 必修 8 単位
政策規範論	2単位必修	
政策過程論	2単位必修	
政策評価論	2単位必修	
政治学基礎、経済学基礎、国際関係学基礎、 社会学基礎、情報科学基礎、人間科学基礎の中から	6単位	
上記6科目を含む選択科目から	8単位	
	計	22単位

#### (3)展開科目

より良い社会を築くため、人間生活をより充実したものにするための政策・企画提言をするのに必要な専門的知識体系を修得します。「政治・行政クラスター」、「経済・環境クラスター」、「国際クラスター」、「社会・文化クラスター」、「情報・メディアクラスター」、「人間科学クラスター」の6つのクラスターから選択し、24単位修得しなければなりません。

#### (4)リサーチ・プロジェクト

リサーチ・プロジェクトは一方的な講義ではなく、教員と学生が一体となって行う授業です。1年次から4年次まで、リサーチに必要な基礎知識・技術修得から始まり、社会における問題を自ら発見する力、その問題を分析する力を養い、更に、独創性を備えた政策・企画の立案・提言ができる力を身につけます。1年次のリサーチ・プロジェクトⅠa・Ⅰbにおいては、学籍番号などによってクラス指定がなされます。2年次のリサーチ・プロジェクトⅡa・Ⅱbのクラス分けは、事前に学生の希望を取ってなされます。3、4年次のリサーチ・プロジェクトⅢa・Ⅲb、Ⅳa・Ⅳbは同一担当教員のもとでの一貫授業となります。2年次秋学期に希望を取って、リサーチ・プロジェクトⅢa・Ⅲb、Ⅳa・Ⅳb担当教員を決定し、2年間同一テーマで履修することを原則とします。リサーチ・プロジェクトの特色は、少人数クラスであること、学生が自らの能力を主体的に高めることができる、創造的な教育環境の提供に努めていることです。教員とも学生仲間とも自由に発想をぶつけ合う場が自然発生的にできるよう心掛けています。

# 授業科目の概要

## 2013 年度以降入学生

### (5) キャリア・デザイン

本学部では、インターンシップ、資格の取得など就職時および就職後にも役立つようキャリア・デザイン科目群を開設しています。これらの科目は、教養教育科目・リテラシー科目・基盤科目・展開科目・他学部他学科科目・他大学履修科目(単位互換履修)と併せて、12単位まで卒業要件単位に算入することができます。